

人権・同和教育シリーズ

174

第14回菊池市人権フェスティバル特選作品

【詩の部】

お面

泗水中2年 迫結依子

私はいつも お面をつけてる
そのお面は 自分をおさえこま
せる
言いたいことがいえない
皆の心の中にあるお面
はめてしまえば安心できる

周りと同じになれる

お面はすぐ丈夫

「同じ」の安心感を知ったら

こわせないたくさんの勇気が必要

お面はこわせる

勇気を出した人だけがこわせる

世界中のお面がこわれたとき

自由な世界が見えてくる

【標語の部】

旭志中2年

江藤涉悟

大丈夫 笑顔いっぱい

かがやかそう

一般 旭志

小さい手大きい手

みんななかよし 輪になろう

松田 優

問い合わせ先 人権啓発課
0968(25)7209



【4コマ漫画の部】

七城小2年 橋原萌々乃

泗水東小6年 森 彩音



韓国発見シリーズ⑦ ほんにちは金です



国際観光マネージャー
金 相延

「アンタクト(非対面)消費」ブーム

最近、韓国の新聞報道によると、お店や売り場で、スタッフや他の客に会わなくても利用できる「アンタクトサービス」が人気だという。アンタクトとは、コンタクトに否定の接頭辞「un」を付けた新造語で、他人との接触を遮断したり、最少化することを指している。

の呼び出しや、無人のコンビニ、家で試着し気に入らなければ無料で返品できる「ホームフィッティングサービス」など、数え出したら切りが無い。

ある化粧品ブランドは、有名なビューティーユーチューバーと一緒に新商品の口紅のレビュー動画を作成。これにAR技術を取り入れた。自撮り形式でスマホ画面を見ながら新商品の口紅をAR上で塗って、自分に似合うか仮想体験できる。該当する口紅をクリックすれば即購入できるシステムだ。

より人間関係が乾いていくような気がする。社会も文明もこれまでの人間の営みから作られたものだ。科学は人の生活を豊かにするために発展し今がある。その結果、せっかく豊かになった時間なのに、店員さんの笑顔にも、人の手の温もりにも関心を持たず、人と人を繋ぐ物がモバイル端末だけというのはものさびしい気がする。

ファストフード店や飲食店では券売機で注文するのが普通になった。また、カフェに到着する前にアプリでコーヒーを事前に注文・決済しておき、お店に到着した時には受け取るだけというサービスもある。クリーニングもアプリで予約し、玄関のドアの前に出しておけば1、2日後にはまた玄関に配達してもらえらる。その他にもタクシー